



できないことをできるようにする方法

お早うございます。(おはようございまあす。)

運動会が終わってから初めての月曜朝会です。

今日は「できないことをできるようにする方法」という話をします。

運動会では、みんな一人一人が自分の一番の力を出して、元気に・なかよく・楽しく、がんばることができました。

それから、6年生は桃五の運動会が終わってすぐ、先週の金曜日に、この地域の小学校5校、八成小、沓掛小、杉九小・天沼小、そして桃五小の6年生が集まって連合運動会をしました。

最近朝早くに、6年生がリレーや走り幅跳び、長縄跳びなどを一生懸命に練習しているのを見た人もたくさんいるはずですよ。

6年生は、桃五小の代表として、力いっぱい一人一人ががんばり、みんなが力を合わせ心をつにして取り組んできました。

いつもお話ししているように、学校はできないことをできるようにするところです。

運動会も連合運動会も同じ。できないことをできるようにがんばる会です。決して戦いに行くのではありません。競い合いに行くのです。できないことをできるようにするために学び合いに行くのです。

さて、そんな連合運動会でこんなことがありました。

一つ目は、長縄跳びの競技の時のことです。それぞれの学校が、クラスごとに跳んでいきます。どのクラスも、励まし合い声をかけ合い、みんな真剣です。ひっかかっても文句を言う人はいません。縄の音だけが響いていきます。

そんな中、それぞれのチームが終わると、跳んだ回数を担任の先生から聞いて、まだ他の学校の結果もわからないのに抱き合って喜んでいきます。そう、1位か2位かそんなことは分からないけれど、昨日までの、さっきまでの自分たちの記録より沢山跳べたようです。他のチームと比べたのではなくて、自分たちの記録に挑戦したのです。

二つ目は、走り幅跳びの時のことです。

他の学校の男子がとてもしょうずに、そしてずいぶん遠くまで大ジャンプをしました。すると、他の学校の子たちがすごいすごい。と、声援を送っていました。そう、戦っているのではなく、競い合う。他の人の素晴らしいところは見習って、自分も同じようにできるようにする。学び合っているのです。

ですから、5つのそれぞれに自分たちのよさを一生懸命に出し合い、記録を更新しようがんばる。他の学校の演技を見て、学べるところ、参考にできるところは参考にして自分の記録をさらに伸ばす。

まさに、できないことをできるようにするために競い合っているのです。

終わった時には勝ち負けではなく、どの学校のどの子の顔も輝いていました。みんなみんな1等賞。

このように、できないことをできるようにするには、昨日の自分よりも今日の自分。今日の自分よりも明日の自分がよりよくなるように、自分の得意なこと自分のやりたいことを一生懸命に努力していくことです。そして、この時に、自分一人では、どのようにするとよくなっていくのかが分からないことが多いけれども、人のよいところを見つめて、そこから学んでいけば次の自分の目当てがはっきりしてくるものです。いつも自分大切に、でも人のよいところを見つけて、そこから学ぶ気持ちが大切です。桃五小には570人以上の人がいます。だから570以上のいいところがあるわけです。

これが、できないことをできるようにする方法です。6年生が力を合わせ、チームワークよくがんばっています。みなさんも6年生に負けずに、もっといろんなことができるようになるために、たくさんのお友達のいいところから、たくさん学んでいってください。それが、桃五の子みんながよくなる方法です。

お話、終わります。